

Mini Disclosure

2018

JALみずの概況
ミニディスクロージャー誌



ごあいさつ

組合員や地域の皆様には、平素より、ご理解・ご協力をいただき厚くお礼申し上げます。

国外では、米国が離脱したTPP11や交渉が妥結した日欧EPA、更にはTPP以上に農業に打撃を与えかねない日米FTAなど、重要な交渉局面が展開され、また、国内では政府の規制改革推進会議による農協改革集中推進期間の期限を目前に控え、自己改革の成果を厳しく問われることが予想されるなど、農業と農協を取り巻く環境はより複雑化しております。

当組合もJAグループとして行政による踏み込んだ施策の実施を促すべく農政活動を展開するとともに、国民に多くの理解が得られるよう農協事業を通じて広く情報発信していく必要があり、徹底した話し合いを行いながら今後も自己改革を進めてまいります。

そのような中、組合員の思いや願いを受け止め自己改革の実践や成果の共有を図るべく、平成29年度は作物部会との座談会や青壮年部・女性部と常勤役員との意見交換会を開催し、ご提案いただいたご意見をもとに事業の改善に繋がりました。

とりわけ販売事業においては、『アンテナショップきらり』での販売をはじめ、インターネット販売、地元スーパーへの直接販売や、学校給食への供給等、買取販売の強化により農業所得の向上を目指し、また、営農指導事業では、個々の農家の経営実態を把握した上で提案と情報提供を行うなど、自己改革に取り組みました。

このような状況のなか、組合員をはじめとする利用者の皆様に組合事業を利用していただいた結果、当期剰余金は270百万円と計画を上回ることができました。更に、平成30年3月期の自己資本比率は14.28%と最低自己資本比率規制の4%を大幅に上回っており、利用者の皆様に安心してご利用いただける財務状態を確保しております。

この度、平成29年度決算内容をお伝えするとともに、経営の健全性やJAバンクシステムの安全性をお知らせし、JAの信用事業へのご理解をいただけるようこのミニディスクロージャー誌を作成しました。

JAしみずは、今後も全役職員が一丸となり、全ての組合員や地域の皆様に満足いただけるような活動を展開するとともに、「農協があって良かった」といわれる農協を確立し、将来にわたり安定した経営を目指すべく尽力して参りますので、一層のご支援・ご理解を賜りますよう心からお願い申し上げます。

平成30年8月



代表理事組合長
柴田 篤郎

概 要

設 立	1972年10月1日
本店所在地	〒424-0192 静岡県静岡市清水区庵原町1番地
組 合 員 数	正組合員6,797人 准組合員18,460人 合計25,257人
出 資 金	29億8,196万7千円
役 員 数	理事26人 監事 6人 平成30年3月末現在
職 員 数	415人(うち正職員367人)

経営理念

私たちは、「農協があつて良かった」といわれる農協を確立し、地域から愛され、組合員とともに歩む農協を樹立します。

基本目標

農 業

[基本目標 1]
農家組合員の農業所得の向上に取り組みます

くらし・事業

[基本目標 2]
くらしの豊かさの実現に貢献します

組織・経営

[基本目標 3]
JAの健全な運営に取り組みます

購買事業

農業生産に必要な肥料・農薬等の資材やお米等の生活用品を提供しています。
購買品供給・取扱高 3,843百万円

販売事業

農家の皆様が生産した農畜産物を消費者の皆様にお届けしています。
販売品販売・取扱高 3,796百万円

事業

共済事業

病気・災害・事故等万 一に備えて、生命・建物・自動車共済等、安心と保障を提供しています。
長期共済保有高 688,620百万円

指導事業

組合員や利用者の皆様の農業経営や生活の向上をお手伝いしています。

その他の事業

農地整備事業 不動産事業 葬祭事業



安心の「JAバンク」システムです。

貯金残高 282,825 百万円
貸出金残高 79,101 百万円

■「JAバンク」システム

JAバンクは、貯金・ローンなど様々な金融サービスを通して皆様の暮らしをサポートします。

「JAバンクシステム」とは、静岡県下JA・静岡県信連をはじめ全国のJA・信連・農林中央金庫が実質的に1つの金融機関(JAバンク)として機能し、組合員・利用者の皆様により一層の「便利さ」と「安心」をお届けするためのシステムです。JAバンク(JA・信連・農林中央金庫)は豊富な資金量とワイドなネットワークを活かして総合金融サービスを提供し、組合員・利用者の皆様の生活の向上に取り組んでいます。

決算のあらまし

財産の状況 [貸借対照表]

資産の部

(単 位:百万円)

	2016年度	2017年度
現金	795	724
預金	181,010	192,061
有価証券	15,468	13,850
貸出金	81,016	79,101
貸倒引当金	▲341	▲311
その他資産	23,384	24,768
合計	301,334	310,196

負債・純資産の部

(単 位:百万円)

	2016年度	2017年度
貯金	275,443	282,825
引当金	1,824	1,699
その他負債	4,759	6,140
(負債計)	282,027	290,665
純資産	19,306	19,531
合計	301,334	310,196

預金:静岡県信連へ預け入れて運用しています。

有価証券:国債等を購入し運用しています。

貸倒引当金:信用事業資産(貸出金)等の貸倒れに備えての準備金等です。

その他資産:土地、建物などの固定資産、未収金等の雑資産、系統機関等への出資金等です。

その他負債:借入金・未払金・仮受金等の雑負債等です。

純資産:皆さまからの出資金、法定準備金、任意積立金、当期末処分剰余金等です。

(注)百万円未満を切り捨てて表示しているため合計に不突合があります。

経営成績 [損益計算書]

(単 位:百万円)

	2016年度	2017年度
事業総利益	4,180	4,085
うち信用事業総利益	2,001	1,946
事業管理費	4,025	3,916
事業利益	155	169
経常利益	399	379
税引前当期利益	438	362
当期剰余金	293	270
当期末処分剰余金	576	557

(注)百万円未満を切り捨てて表示しているため合計に不突合があります。

事業総利益:各事業収益から各事業直接費を差し引いた金額の合計です。

事業管理費:人件費、業務費、諸税負担金、施設費等、労働や施設の管理に必要な費用です。

事業利益:事業総利益から事業管理費を差し引いた差額です。

経常利益:事業利益に受取出資配当金等の事業外収益を加え、支払利息等の事業外費用を差し引いた金額です。

税引前当期利益:経常利益に固定資産処分益等の特別利益を加え、固定資産処分損等の特別損失を差し引いた金額です。

当期剰余金:全ての収益から費用・損失・法人税等を差し引いた金額で一般企業の当期純利益に相当します。

当期末処分剰余金:当期剰余金に前期繰越剰余金などを加えた金額です。

健全経営チェックポイント

自己資本比率 [健全経営のバロメーター]

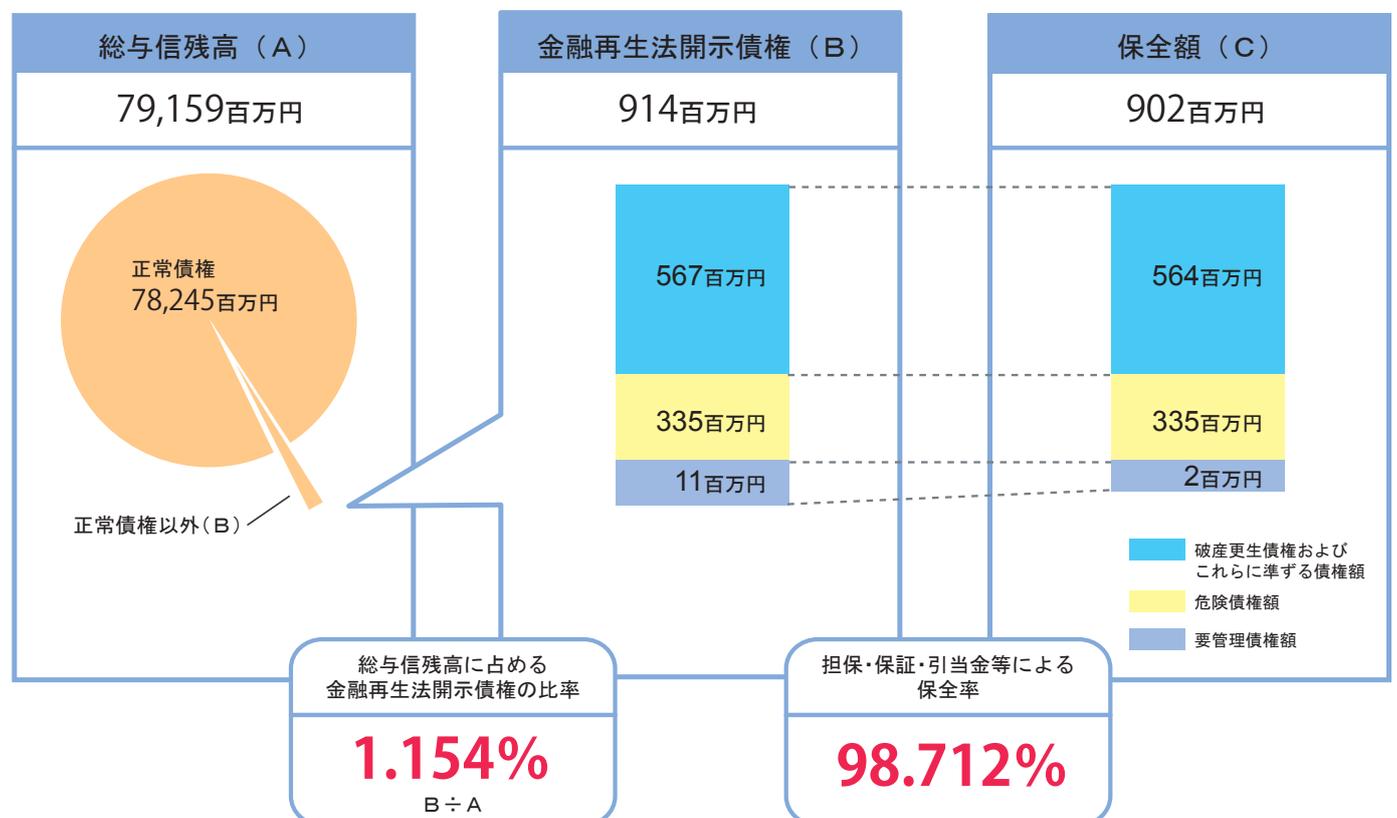
(単位: 百万円)

自己資本額		19,118	A
リスク・アセット (注1)	リスク・アセット	125,896	B
	オペレーショナル・リスク÷8%	7,976	C
自己資本比率 (注2)		14.28%	A ÷ (B + C)

(注1) BIS規制(自己資本比率規制)に定義された自己資本比率を計算する際の分母に用いる証券や債権などの各種資産のことを指します。

(注2) 万一、運用により損失が発生しても、自己資本が十分確保されていれば、皆さまからお預かりした貯金の払戻しに不足することはありません。つまり、この比率が高いほど安全性は高くなります。なお、当JAは国内業務金融機関の基準4%を大きく上回っています。

金融再生法開示債権の状況



※上記比率は貸出金等のなかにもどのくらい金融再生法の開示債権(全金融機関共通)があるかを示していますので、この比率が低いほど健全な貸出金等が多いといえます。当JAは健全な運用を行っており、堅実な経営をしております。

※貸出金等の回収が困難になるなど万が一の事態に備えて、どのくらい担保や引当金で手当て・保全ができていているかを示しています。当JAはこの率が98.712%であり、十分な保全措置をとっています。

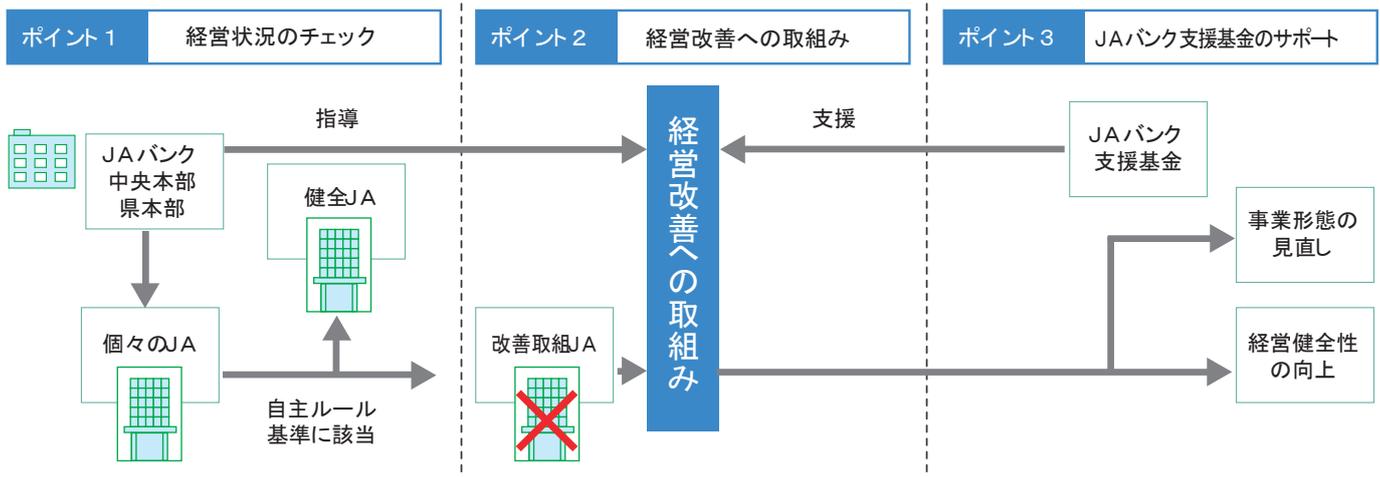
安心を支える2つの制度

セーフティネットについて

当JAは、リスクに対応した経営と自己資本の充実に努めています。また、万が一の場合でも皆様の貯金はJAバンク制度と貯金保険制度で守られています。

安心① 破綻未然防止システム

JAバンク独自のシステムです。JAバンク全体で経営の健全性を確保し、組合員・利用者の皆さまに一層の「安心」をお届けします。



安心② 貯金保険制度

国による公的制度です。貯金者を法律によって保護する保険制度です(貯金には保険がかけられています。)

対象貯金等		対象以外貯金等
当座貯金 普通貯金 別段貯金	その他の貯金等 定期貯金、定期積金、 貯蓄貯金等	対象以外の貯金等 外貨貯金、譲渡性貯金等
決済用貯金(利息がつかない等の条件を満たす貯金) (注1)		
全額保護	合算して元金1,000万円までとその利息等 (注2)	破綻農水産業協同組合の財産の状況に応じて支払い(一部カットされることがあります。)

(注1) 「無利息、要求払い、決済サービスを提供できること」という3つの条件を満たすものです。

(注2) 1,000万円を超える元本とその利息等については、破綻農水産業協同組合の財産の状況に応じて支払われますので、一部カットされることがあります。

店舗一覧 市外局番(054)

本 店 TEL. 367-3200(代)
興津支店 TEL. 369-1121
小島支店 TEL. 393-3111
両河内支店 TEL. 395-2221
庵原支店 TEL. 367-3229
袖師支店 TEL. 365-1122

飯田支店 TEL. 366-0217
高部支店 TEL. 346-0149
梅ヶ谷支店 TEL. 347-1014
清水支店 TEL. 334-2525
三保支店 TEL. 334-0258
下清水支店 TEL. 352-7128

有度支店 TEL. 345-4136
草薙支店 TEL. 345-3324
長崎支店 TEL. 345-4036
由比支店 TEL. 375-2151
蒲原支店 TEL. 385-2156
ローンセンター TEL. 367-3268